



女性ならではの“智性”が、 新しい夜明けの力に

小説『33年後のなんとなく、クリスタル』を上梓
田中康夫さん(58)



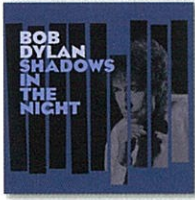
music



『シャドウズ・イン・ザ・ナイト』

ボブ・ディラン
ソニー ¥2,400
SICP-4391

3年ぶりの通算36作目は、ジャック・フロスト・プロデュースのカヴァー・アルバム。往年の名曲をディラン風に再現。



『ブラック・メサイア』

ディアンジェロ
ソニー ¥2,222
SICP-4398

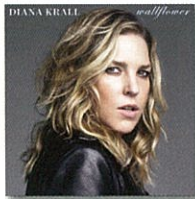
ブラック・ミュージック・シーンのカリスマが、14年ぶりに新作を発表。ヴィンテージ機材を使った独特の質感。



『ウォールフラワー』

ダイアナ・クラール
ユニバーサル ¥2,600 [通常盤]
UCCV-1150

アレンジをデヴィッド・フォスターが手がけた珠玉のヴォーカル・アルバム。ポール・マッカートニー書下ろしの新曲も話題。



『千住真理子の無伴奏ヴァイオリン』

千住真理子
ユニバーサル ¥3,500
UCCY-1049/50

3タイトル連続リリースのデビュー40周年記念作。そのクライマックスは、自身が大きな影響を受けたバッハの無伴奏作品集。



取材・文/印南敦史

『33年後のなんとなく、クリスタル』

田中康夫 著
河出書房新社
¥1,600

あの頃、女子大生モデルをしていた由利、その友人だった早苗や江美子たちは50代となった今、どんな時を過ごしているのか？ 著者の分身のような「ヤスオ」も登場し、美酒・美食を堪能しつつ「これまでの、いまの・これからのニッポン」を深く見つめる。



たなかやすお '56年、東京都生まれ。一橋大学在学中の'80年に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。'95年阪神・淡路大震災後、ボランティア活動に従事。'00年～'06年長野県知事を務める。'07年～'12年参議院議員、衆議院議員を務める。主な小説に『プリリアントな午後』『昔みたい』等。評論に『神戸震災日記』『憂国呆談』等。

現在PR会社の経営者となった由利も、本作ではごく自然なスタンスで社会貢献活動に参加する。田中さんの政治家としてのキャリアも振り返りつつ、「微力だけど無力じゃない」私たち女性の力に大きな期待を寄せた力作だ。

撮影/吉澤健太 取材・文/内山靖子

パスキン展

パナソニック汐留ミュージアム



ジュール・パスキン(少女-幼い踊り子)
1924年 油彩、カンヴァス
パリ市立近代美術館蔵
©Eric Emor/ Musée d'Art Moderne/ Roger-Viollet

虹色に輝く色彩で一世を風靡した画家の1920年代の全盛期の作品群や、中米の風土から影響を受けたアメリカ時代など約120点で構成。エコール・ド・パリの貴公子と呼ばれたパスキンが求めた世界を追う。

～3/29 ☎03-5777-8600

ガブリエル・オロスコ展
一内なる複数のサイクル

東京都現代美術館



ガブリエル・オロスコ
(La DS カーネリアン)2013年
変形した車 489x122x147cm

路傍のタイヤや掘って立て小屋に差し込む光などに着目して作品に転化する、稀代のアーティストの国内美術館初の個展。自動車を分割して貼り合わせた代表作(La DS)から最新のカンヴァス作品などを紹介。～5/10 ☎03-5777-8600

新印象派
一光と色のドラマ

東京都美術館



ジュール・パスキン
(セーヌ川、クルブゴワにて)
1885年 油彩、カンヴァス
81x65.2cm
個人蔵 © Droit Réserve

絵の具を混ぜず小さな点で描き、観る人の目のなかで色同士を作用させる作品を制作した新印象派。静謐なスーラ、強い色彩のマティスなど、革新的な様式を作り上げた画家たちの光と色のドラマに迫る。～3/29 ☎03-5777-8600

art

